

日本にある「世界遺産」を確認しよう！

2015年に登録された世界遺産は……

登録された年（区分）	世界遺産	場所
19：2015年（文化）	明治日本の産業革命遺産（23資産）	
<p>【写真A】</p> 	<p>①萩反射炉、②恵美須ヶ鼻造船所跡 ③大板山たたら製鉄遺跡 ④萩城下町、⑤松下村塾【写真A】</p>	やまぐち 山口県
<p>【写真B】</p> 	<p>⑥旧集成館【写真B】 ⑦寺山炭窯跡、⑧関吉の疎水溝</p>	かごしま 鹿児島県
<p>【写真C】</p> 	<p>⑨韮山反射炉【写真C】 ⑩橋野鉄鉱山 ⑪三重津海軍所跡</p>	しずおか 静岡県 いわて 岩手県 さが 佐賀県
<p>【写真D】</p> 	<p>⑫小菅修船場跡 ⑬三菱長崎造船所第三船渠 ⑭三菱長崎造船所ジャイアント・カンチレバークレーン ⑮三菱長崎造船所旧木型場 ⑯三菱長崎造船所占勝閣 ⑰高島炭坑、⑱端島炭坑【写真D】</p>	ながさき 長崎県
	<p>⑲旧グラバー住宅 ⑳三池炭鉱・三池港、㉑三角西港 ㉒官宮八幡製鐵所 ㉓遠賀川水源地ポンプ室</p>	ふくおか くまもと 福岡県・熊本県 ふくおか 福岡県

◎気が付いたことなどを書いてみよう！（なぜ、この23の資産が登録されたのかを考えてみよう）

日本にある「世界遺産」を確認しよう！（解答編）

◎気が付いたことなどを書いてみよう！

- 記入例：
- ・関係する遺産の数が23と多い。
 - ・広い範囲にわたって関係する遺産が分布している。
(九州地方に多くの遺産がある)
 - ・石炭を利用して鉄が作られ、その鉄を材料として船などが作られていたことがわかる。

※主な用語の確認

「産業革命」：生産技術が大きく向上し、経済や社会の仕組みが変わること。

日本では、明治時代に鉱工業に機械が導入され、資本家と労働者からなる資本主義経済、生産の仕組みが発展しました。

「反射炉」：木炭などを燃料として火炎を炉の中にふんしゃして、天井からの反射熱で鉄を溶かす装置。(良質な鉄などをつくる装置)

「造船」：どのような船をつくるのかを検討する段階を含め、船をつくること。
(船を設計、建造すること)

「炭鉱」：石炭を掘り出すための鉱山などのこと。

※世界遺産の登録状況

2015年7月現在では、1031件(文化遺産802件、自然遺産197件、複合遺産32件)の世界遺産があり、このうち日本の世界遺産は19件(文化遺産15件、自然遺産4件)です。

世界の国々が推薦した遺産を、世界遺産とするか(一覧表にのせるか)どうかは、21カ国の委員国による「世界遺産委員会」で決められます。

2016年の第40回世界遺産委員会にて、世界遺産への登録が話し合われる予定になっている日本の遺産は次のものです。(どのような遺産か調べてみましょう)

- ・長崎の教会群とキリスト教関連遺産
- ・国立西洋美術館本館